

図2 栄養カテーテルの固定法 (経鼻の場合)

番号	固定の仕方	図
21	鼻下から顔面にかけてカテーテル上を縦長に貼る	
22	同上	
23	カテーテルに1回巻いて鼻下に貼る	
24	切込みのない部分を鼻尖部に貼り、切込みがある部分をカテーテルに巻きつける	
25	同上	
26	同上	
27	Zの上側を鼻尖部に貼り、下側はカテーテルに巻きにもう1枚を貼る	
28	1枚はカテーテルに1回巻いて鼻下に縦長に貼り、その上にもう1枚を貼る	
29	1枚はカテーテルに1回巻いて鼻下から頬部にやや縦長に貼り、もう1枚は間隔をあけて縦長に貼る	
30	1枚はカテーテルに1回巻いて鼻下から頬部に縦長に貼り、もう1枚も同じように間隔をあけて貼る	
31	1枚はカテーテルに1回巻きその両端の鼻尖に貼り、もう1枚は頬部に縦長に貼る	
32	1枚は鼻下に縦長に貼り、もう1枚はカテーテルに1回巻き頬部に縦長に貼る	
33	頬部に縦長に1枚ずつ、間隔をあけて貼る	
34	頬部に縦長に1枚ずつ、間隔をあけて貼る	
35	1枚は鼻下に縦長に貼り、ハート型は頬部に貼る	
36	切込みのない部分を鼻尖部に貼り、切込みがある部分をカテーテルに巻きつける。もう1枚は頬部に縦長に貼る	
37	切込みのない部分を鼻尖部に貼り、切込みがある部分をカテーテルに巻きつける。もう1枚は頬部に縦長に貼る	
38	カテーテルの鼻穴部分に巻いた糸の端を絆創膏で鼻尖に貼り、もう1枚は頬部分に巻いた糸の端を、1枚は鼻下、もう1枚は頬部に縦長に貼る	
39	カテーテルの鼻穴部分に巻いた糸の端を、1枚は鼻下、もう1枚は頬部に縦長に貼る	
40	1枚は鼻下に縦長に貼り、残り2枚は間隔をあけて頬部に縦長に貼る	
41	カテーテルに1回巻き鼻下から頬部にかけて縦長に貼り、その上に2枚目を重ねて貼る。3枚目は頬部に縦長に貼る	
42	カテーテルに1回巻き鼻尖にはる、残り2枚は間隔をあけて、カテーテルに1回巻いて頬部に縦長に貼る	
43	切込みのない部分を鼻尖部に貼り、切込みがある部分をカテーテルに巻きつける。2枚目は鼻尖部分の絆創膏に重ねて縦長に貼る。3枚目は頬部に縦長に貼る	
44	切込みのない部分を鼻尖部に貼り、切込みがある部分をカテーテルに巻きつける。残り2枚は間隔をあけて、カテーテルに1回巻いて頬部に縦長に貼る	
45	カテーテルの鼻穴部分に巻いた糸の端を、1枚は鼻下、もう1枚は頬部に縦長に貼る。3枚目の絆創膏でカテーテルを頬部に縦長に貼る	

末梢静脈留置カテーテル挿入部の固定法

新生児（低出生体重児を含む）に適した末梢静脈留置カテーテル挿入部の固定法について、述べていると思われる方法を別紙の図で示した方法から3つ選び、述べていると思われる順に、番号を下の欄に記入してください。番号は図の一番右端の数字で1から25です。

必ず3つ選んでください。

- * 今回の調査では、延長チューブやシーネの固定、絆創膏の種類については検討内容から除外しています。
- * 絆創膏の幅は1インチ (2.54cm) を基本とし、細めの絆創膏は1/2インチ (1.25cm) と考え、およそその目安としてください。
- * 手順1、手順2とあるのは、絆創膏を次々と重ねて貼っていく状況です。
- * 「切り込み」とは、絆創膏に切り込みを入れ入れたものを示します。
- * 手順2のところでは、1枚、2枚とあるのは、手順2で使用する絆創膏の枚数を示します。
- * 図の点線部分は、下側の絆創膏を示します。

1位	2位	3位

ありがとうございました。

図 末梢ルート刺入部の固定法

手順1	手順2	手順3	番号
1枚	細めの絆創膏をクロスさせて貼る	縦長に貼る	1
2枚	細めの絆創膏を×印に貼る	縦長に貼る	2
1枚	細めの絆創膏を各々クロスさせて貼る	切り込みテープを巻いて貼る	3
1枚	縦長に貼る	縦長に貼る	4
1枚	縦長に貼る	縦長に貼る	5
1枚	縦長に貼る	縦長に貼る	6
1枚・切り込み	縦長に貼る	縦長に貼る	7
1枚・切り込み	縦長に接し、縦部に向けて貼る		8
1枚・切り込み	縦長に針先に向けて貼る		9

2.5cm以上の絆創膏を縦長に貼る



1枚	細めの絆創膏をクロスさせて貼る	細めの絆創膏を縦長に貼る	10
2枚	細めの絆創膏を各々クロスさせて貼る		11
1枚・切り込み	細めの絆創膏を縦長に針先に向けて貼る	細めの絆創膏を縦長に貼る	12
1枚・切り込み	細めの絆創膏を縦長に針先に向けて貼る		13
1枚・切り込み	縦長に接し、縦部に向けて貼る		14
1枚・切り込み	細めの絆創膏を縦長に針先に向けて貼る	縦長に貼る	15
1枚	細めの絆創膏をクロスさせて貼る	縦長に貼る	16
1枚	細めの絆創膏をクロスさせて貼る		17
1枚	縦長に貼る		18
1枚・切り込み	後縫部に巻きつけて貼る	縦長に貼る	19

細めの絆創膏を縦長に貼る



絆創膏を縦長に貼る



経末梢中心静脈カテーテルの固定法 (PIカテーテルの固定法)

新生児（低出生体重児を含む）に適した経末梢中心静脈カテーテル（PIカテーテル）刺入部の固定法について、適していると思われる方法を別紙の図で示した方法から3つを選び、適していると思われる順に、番号を下の欄に記入してください。

必ず、3つ、選択してください。

- * 今回の調査では、延長チューブやシーネの固定、絆創膏の種類については検討内容から除外しています。
- * 絆創膏は、消毒が維持されたもので、滅菌処理を加えたものではないものとしています。
- * 手順1、手順2とあるのは、絆創膏や透明フィルム、圧迫止血用の材料を次々に重ねながら貼っていく状況です。

1位	2位	3位

ありがとうございました。


























































20		横長に貼る	
21		縦長に針を覆うように貼る	
22		縦長に貼る	
23		縦長に2枚貼る	
24		横長に貼る	
25		横長に貼る	

図 紐末梢中心線照ライン刺入部の固定法

手順1	手順2	手順3	番号
透明フィルムを貼る 			1
	フィルムの4辺を粘着剤で固める 		2
透明フィルムを貼る 	フィルム上面を粘着剤で固める 		3
	止血圧適用材料の取用 (ガーゼ) 	粘着剤を貼る 	4
	止血圧適用材料の取用 (綿花) 	粘着剤を貼る 	5
粘着剤を貼る 	透明フィルムを貼る 	フィルム4辺に粘着剤を貼る 	6
粘着剤を貼る 	透明フィルムを貼る 		7
粘着剤を貼る 	透明フィルムを貼る 		8

手順1	手順2	手順3	番号
粘着剤を貼る 	透明フィルムを貼る 		9
粘着剤を貼る 	透明フィルムを貼る 		10
粘着剤を貼る 	透明フィルムを貼る 		11
粘着剤を貼る 	透明フィルムを貼る 		12
粘着剤を貼る 	透明フィルムを貼る 		13
粘着剤を貼る 	透明フィルムを貼る 		14
カテーテルを皮膚に1針縫合してとめる	透明フィルムを貼る 		15
接着剤使用 (707077) 	透明フィルムを貼る 		16

手順1	手順2	手順3	番号
接着剤使用 (アロンアルファ)	透明フィルムを貼る 		17
接着剤を貼る 	接着剤 (ノベクタンズプレー)	透明フィルムを貼る 	18
接着剤を貼る 	接着剤 (ノベクタンズプレー)	透明フィルムを貼る 	19
止圧圧迫材料使用 (ガーゼ・綿球)	透明フィルムを貼る 		20
止圧圧迫材料使用 (ガーゼ)	透明フィルムを貼る 	フィルム上下に接着剤を貼る 	21
止圧圧迫材料使用 (綿球)	接着剤を貼る 	透明フィルムを貼る 	22
接着剤を貼る 	止圧圧迫材料使用 (ガーゼ)	透明フィルムを貼る 	23

手順1	手順2	手順3	番号
接着剤を貼る 	止圧圧迫材料の使用 (ガーゼ) 	手順3 透明フィルムを貼る 	24
手順1 1枚貼る 			25
手順2 2枚貼る 			26
手順2 2枚貼る 			27
手順2 2枚貼る 			28
手順2 2枚貼る 			29
手順3 3枚貼る 			30

身体の抑制・固定法

チューブやカテーテルが挿入されている次の4つの状況にある新生児(低出生体重児を含む)の身体抑制・固定法について、体位別(仰臥位・側臥位・腹臥位)に答えてください。

必ず、3つ、選んでください。

* 回答される場合には、次の順番で進めると、わかりやすいと思います:

- ① まず、表の右端の「抑制・固定の範囲」を選ぶ。
- ② 次に、選んだ範囲の中で、方法を選ぶ。

A: 新生児の状況は、気管内挿管・血管確保・栄養カテーテル挿入中です。

適切と思われる方法を、各々3つ選び、

適切と思われる順に下の空欄に、番号を書いてください。








	1位	2位	3位
仰臥位 (番号: 1~25)			
側臥位 (番号: 26~38)			
腹臥位 (番号: 39~97)			

B: 新生児の状況は、血管確保と栄養カテーテル挿入中です。

適切と思われる方法を、各々3つ選び、

適切と思われる順に下の空欄に、番号を書いてください。

	1位	2位	3位
仰臥位 (番号: 1~25)			
側臥位 (番号: 26~38)			
腹臥位 (番号: 39~97)			

手順1 絆創膏3枚貼る	手順2 手順3	手順3 番号
		31
		32
		33
止血圧迫用材料使用 (ガーゼ) 絆創膏を貼る 		34
止血圧迫用材料使用 (綿絆) 絆創膏を貼る 		35
絆創膏3枚貼る 	透明フィルムを貼る 	36

C: 新生児の状況は、栄養カテーター挿入中です。

適切と思われる方法を、各々3つ選び、
適切と思われる順に下の空欄に、番号を書いてください。

	1位	2位	3位
仰臥位 (番号:1~25)			
側臥位 (番号:26~38)			
腹臥位 (番号:39~97)			

D: 新生児の状況は、麻管確保中です。

適切と思われる方法を、各々3つ選び、
適切と思われる順に下の空欄に、番号を書いてください。

	1位	2位	3位
仰臥位 (番号:1~25)			
側臥位 (番号:26~38)			
腹臥位 (番号:39~97)			

ありがとうございました。

1. 仰臥位の場合

番号	抑制・固定の仕方	抑制・固定の範囲
1	ポジションングのみ実施する(固い込み・包み込み・ネステイニングなど)	
2	何もしない(ポジションングや、次の方法を含む抑制・固定法を実施しない)	
3	頸部左右または頭頂部に砂嚢をあてる	頸部のみ
4	気管内チューブ固定用具を用いて固定する	
5	幅広の前で頸部から頭部を覆い、布の端をマトレスなどの下に挟む	
6	シーネの先をコックヘルム等でシートに止める	上肢のみ
7	腕にガーゼや抑制紐を巻き、その先をコックヘルム等で砂嚢やシーネに止める、または手入れ窓に挟む	
8	股に砂嚢をあてる	股のみ
9	頭部左右または頭頂部に砂嚢をあて、上肢はシーネの先をコックヘルム等でシートに止める	
10	頭部左右または頭頂部に砂嚢をあて、腕にガーゼや抑制紐を巻き、その先をコックヘルム等で砂嚢やシーネに止める、または手入れ窓に挟む	頭部と上肢
11	気管内チューブ固定用具を用いて固定し、上肢はシーネの先をコックヘルム等でシートに止める	
12	気管内チューブ固定用具を用いて固定し、腕にガーゼや抑制紐を巻き、その先をコックヘルム等で砂嚢やシーネに止める、または手入れ窓に挟む	
13	幅広の前で頸部から頭部を覆い、布の端をマトレスなどの下に挟み、上肢はシーネの先をコックヘルム等でシートに止める	
14	幅広の前で頸部から頭部を覆い、布の端をマトレスなどの下に挟み、腕にガーゼや抑制紐を巻き、その先をコックヘルム等で砂嚢やシーネに止める、または手入れ窓に挟む	
15	頭部左右または頭頂部に砂嚢をあて、股に砂嚢をあてる	頸部・股
16	気管内チューブ固定用具を用いて固定し、股に砂嚢をあてる	
17	幅広の前で頸部から頭部を覆い、布の端をマトレスなどの下に挟み、股に砂嚢をあてる	
18	シーネの先をコックヘルム等でシートに止め、股に砂嚢を置く	上肢・股
19	腕にガーゼや抑制紐を巻き、その先をコックヘルム等で砂嚢やシーネに止める、または手入れ窓に挟み、股に砂嚢を置く	
20	頭部左右または頭頂部に砂嚢をあて、上肢はシーネの先をコックヘルム等でシートに止め、股に砂嚢をあてる	
21	頭部左右または頭頂部に砂嚢をあて、腕にガーゼや抑制紐を巻き、その先をコックヘルム等で砂嚢やシーネに止める、または手入れ窓に挟み、股に砂嚢をあてる	頭部・上肢・股
22	気管内チューブ固定用具を用いて固定し、上肢はシーネの先をコックヘルム等でシートに止め、股に砂嚢をあてる	
23	気管内チューブ固定用具を用いて固定し、腕にガーゼや抑制紐を巻き、その先をコックヘルム等で砂嚢やシーネに止める、または手入れ窓に挟み、股に砂嚢をあてる	
24	幅広の前で頸部から頭部を覆い、布の端をマトレスなどの下に挟み、上肢はシーネの先をコックヘルム等でシートに止め、股に砂嚢をあてる	
25	幅広の前で頸部から頭部を覆い、布の端をマトレスなどの下に挟み、腕にガーゼや抑制紐を巻き、その先をコックヘルム等で砂嚢やシーネに止める、または手入れ窓に挟み、股に砂嚢をあてる	

2. 側臥位の場合		抑制・固定の仕方	抑制・固定の範囲
番号			
26	ボジョニングのみ実施する(囲い込み・包み込み・ネステイングなど)		
27	何もしない(ボジョニングや、次の方法を含む抑制・固定法を実施しない)		
28	後頭部に砂嚢を当てる		頭部のみ
29	シーネの先をコックヘル等でシーツに止める		上肢のみ
30	胸にガーゼや抑留紐を巻き、その先をコックヘル等で砂嚢やシーネに留める、または手入れ窓に挟む		
31	背側に小枕やボジョニング用品を当てる		背部のみ
32	後頭部に砂嚢を当て、上肢はシーネの先をコックヘル等でシーツに止める		頭部・上肢
33	後頭部に砂嚢を当て、上肢は胸にガーゼや抑留紐を巻き、その先をコックヘル等で砂嚢やシーネに留める、または手入れ窓に挟む		頭部・上肢
34	後頭部に砂嚢を当て、背側に小枕やボジョニング用品を当てる		頭部・背部
35	シーネの先をコックヘル等でシーツに止め、背側に小枕やボジョニング用品を当てる		上肢・背部
36	胸にガーゼや抑留紐を巻き、その先をコックヘル等で砂嚢やシーネに留める、または手入れ窓に挟む、背側に小枕やボジョニング用品を当てる		頭部・上肢・背部
37	後頭部に砂嚢を当て、上肢はシーネの先をコックヘル等でシーツに止め、背側に小枕やボジョニング用品を当てる		頭部・上肢・背部
38	後頭部に砂嚢を当て、上肢は胸にガーゼや抑留紐を巻き、その先をコックヘル等で砂嚢やシーネに留める、または手入れ窓に挟む、背側に小枕やボジョニング用品を当てる		頭部・上肢・背部

3. 腹臥位の場合		抑制・固定の仕方	抑制・固定の範囲
番号			
39	ボジョニングのみ実施する(囲い込み・包み込み・ネステイングなど)		
40	何もしない(ボジョニングや、次の方法を含む抑制・固定法を実施しない)		
41	幅広い布で頸部から頭部を巻き、布の両端をコックヘル等でシーツに留める		頭部のみ
42	頭部に幅広い布を当て、布の両端の上に砂嚢を置く		
43	頭部左右に砂嚢を当てる		
44	シーネの先をコックヘル等でシーツに止める		上肢のみ
45	胸にガーゼや抑留紐を巻き、その先をコックヘル等で砂嚢やシーネに留める、または手入れ窓に挟む		
48	両体側に砂嚢をあてる		体側のみ
47	臀部に砂嚢をあてる		臀部のみ
48	幅広い布で頸部から頭部を巻き、布の両端をコックヘル等でシーツに留め、上肢はシーネの先をコックヘル等でシーツに止める		頭部・上肢
49	幅広い布で頸部から頭部を巻き、その先をコックヘル等で砂嚢やシーネに留める、または手入れ窓に挟む		
60	頭部に幅広い布を当て、布の両端の上に砂嚢を置き、上肢はシーネの先をコックヘル等でシーツに止める		
61	頭部に幅広い布を当て、布の両端の上に砂嚢を置き、胸にガーゼや抑留紐を巻き、その先をコックヘル等で砂嚢やシーネに留める、または手入れ窓に挟む		
62	頭部左右に砂嚢を当て、上肢はシーネの先をコックヘル等でシーツに止める		
63	頭部左右に砂嚢を当て、胸にガーゼや抑留紐を巻き、その先をコックヘル等で砂嚢やシーネに留める、または手入れ窓に挟む		
64	幅広い布で頸部から頭部を巻き、布の両端をコックヘル等でシーツに留め、両体側に砂嚢をあてる		頭部・体側
65	頭部に幅広い布を当て、布の両端の上に砂嚢を置き、両体側に砂嚢をあてる		
66	頭部左右に砂嚢を当て、両体側に砂嚢をあてる		
67	幅広い布で頸部から頭部を巻き、布の両端をコックヘル等でシーツに留め、臀部に砂嚢をあてる		頭部・臀部
68	頭部に幅広い布を当て、布の両端の上に砂嚢を置き、臀部に砂嚢をあてる		
69	頭部左右、および、臀部に砂嚢をあてる		
70	上肢はシーネの先をコックヘル等でシーツに止め、両体側に砂嚢をあてる		上肢・体側
71	胸にガーゼや抑留紐を巻き、その先をコックヘル等で砂嚢やシーネに留める、または手入れ窓に挟む、両体側に砂嚢をあてる		
72	上肢はシーネの先をコックヘル等でシーツに止め、臀部に砂嚢を当てる		上肢・臀部
73	胸にガーゼや抑留紐を巻き、その先をコックヘル等で砂嚢やシーネに留める、または手入れ窓に挟む、シーネ自体も固定し、臀部には砂嚢を当てる		上肢・臀部

	体側・臀部	体側・臀部
74	両体側、および、臀部に砂嚢をあてる	
75	幅広の布で頸部から頭部を巻き、布の両端をコックヘルム等でシーツに留め、上肢はシーネの先をコックヘルム等でシーツに止め、両体側に砂嚢を置く	頭部・上肢・体側
76	幅広の布で頸部から頭部を巻き、布の両端をコックヘルム等でシーツに留め、胸にガーゼや抑制紐を巻き、その先をコックヘルム等で砂嚢やシーネに留める、または手入れ感に挟み、両体側に砂嚢を置く	
77	頭部に幅広の布を当て、布の両端の上に砂嚢を置き、上肢はシーネの先をコックヘルム等でシーツに止め、両体頭に砂嚢を置く	
78	頭部に幅広の布を当て、布の両端の上に砂嚢を置き、胸にガーゼや抑制紐を巻き、その先をコックヘルム等で砂嚢やシーネに留める、または手入れ感に挟み、両体頭に砂嚢を置く	
79	頭部左右に砂嚢を当て、上肢はシーネの先をコックヘルム等でシーツに止め、両体側に砂嚢を置く	
80	頭部左右に砂嚢を当て、胸にガーゼや抑制紐を巻き、その先をコックヘルム等で砂嚢やシーネに留める、または手入れ感に挟み、両体側に砂嚢を置く	
81	幅広の布で頸部から頭部を巻き、布の両端をコックヘルム等でシーツに留め、両体側および臀部に砂嚢をあてる	頭部・体側・臀部
82	頭部に幅広の布を当て、布の両端の上に砂嚢を置き、両体側および臀部に砂嚢をあてる	
83	頭部左右に砂嚢を当て、両体側および臀部に砂嚢をあてる	
84	上肢はシーネの先をコックヘルム等でシーツに止め、両体側および臀部に砂嚢をあてる	上肢・体側・臀部
85	胸にガーゼや抑制紐を巻き、その先をコックヘルム等で砂嚢やシーネに留める、または手入れ感に挟み、両体側および臀部に砂嚢をあてる	
86	幅広の布で頸部から頭部を巻き、布の両端をコックヘルム等でシーツに留め、上肢はシーネの先をコックヘルム等でシーツに止め、臀部に砂嚢を置く	頭部・上肢・臀部
87	幅広の布で頸部から頭部を巻き、布の両端をコックヘルム等でシーツに留め、胸にガーゼや抑制紐を巻き、その先をコックヘルム等で砂嚢やシーネに留める、または手入れ感に挟み、臀部に砂嚢を置く	
88	頭部に幅広の布を当て、布の両端の上に砂嚢を置き、上肢はシーネの先をコックヘルム等でシーツに止め、臀部に砂嚢を置く	
89	頭部に幅広の布を当て、布の両端の上に砂嚢を置き、胸にガーゼや抑制紐を巻き、その先をコックヘルム等で砂嚢やシーネに留める、または手入れ感に挟み、臀部に砂嚢を置く	
90	頭部左右に砂嚢を当て、上肢はシーネの先をコックヘルム等でシーツに止め、臀部に砂嚢を置く	
91	頭部左右に砂嚢を当て、胸にガーゼや抑制紐を巻き、その先をコックヘルム等で砂嚢やシーネに留める、または手入れ感に挟み、臀部に砂嚢を置く	
92	幅広の布で頸部から頭部を巻き、布の両端をコックヘルム等でシーツに留め、上肢はシーネの先をコックヘルム等でシーツに止め、両体側および臀部に砂嚢を置く	頭部・上肢・体側・臀部
93	幅広の布で頸部から頭部を巻き、布の両端をコックヘルム等でシーツに留め、胸にガーゼや抑制紐を巻き、その先をコックヘルム等で砂嚢やシーネに留める、または手入れ感に挟み、両体側および臀部に砂嚢を置く	
94	頭部に幅広の布を当て、布の両端の上に砂嚢を置き、上肢はシーネの先をコックヘルム等でシーツに止め、両体側および臀部に砂嚢を置く	
95	頭部に幅広の布を当て、布の両端の上に砂嚢を置き、胸にガーゼや抑制紐を巻き、その先をコックヘルム等で砂嚢やシーネに留める、または手入れ感に挟み、両体側および臀部に砂嚢を置く	
96	頭部左右に砂嚢を当て、上肢はシーネの先をコックヘルム等でシーツに止め、両体側および臀部に砂嚢を置く	
97	頭部左右に砂嚢を当て、胸にガーゼや抑制紐を巻き、その先をコックヘルム等で砂嚢やシーネに留める、または手入れ感に挟み、両体側および臀部に砂嚢を置く	

気管内チューブの固定法

第2回調査

次のA・Bの状況にある新生児（低出生体重児を含む）の気管内チューブの固定法について、適していると思われる方法3つを選び、適していると思われる順に、番号を回答用紙の第2調査欄に書いてください。3つ選ぶのが難しい場合は1つないし2つでも結構です。ただし、必ず順位づけをしてください。

（固定法は、「報告書」の6～12ページをご参照ください。）

A：新生児の状況は、体重が小さい・体動が少ない状態です。

B：新生児の状況は、体重が大きい・体動が多い状態です。

第2回調査では、第1回調査結果と、方法決定に際しての評価項目を参考に、再検討してください。また、最後の追加質問にもお答えください。

気管内チューブ固定法の評価項目

- 1) 絆創膏を貼る位置が唾液で汚染されないか
- 2) チューブを左右・上下に引き合う力は均等か
- 3) 適正なチューブ挿入長端が固定絆創膏の端と一致しているか
- 4) 皮膚に付着する絆創膏の面積は必要最小限か
- 5) 絆創膏により皮膚を引き過ぎていないか
- 6) 絆創膏や使用物品による皮膚等への圧迫はないか
- 7) 顔の向きを変えやすいか
- 8) 絆創膏を同じ位置に重ねて貼る場合、その効果が期待できるか
- 9) 固定物品によってチューブが破損（穴があくなど）されていないか
- 10) 固定物品によってチューブ内腔が狭くなることはないか
- 11) コストはどうか

気管内チューブ固定法 回答用紙

1位から3位を選び、第2回調査の欄に記入してください。

A: 体重や体動が小さい場合

順位	第1回調査結果		第2回調査		
	得票数	順位	得票数	順位	
I	1	6	145	10	13
I	2	13	90	11	10
I	3	25	40	17	5
I	4	33	10	30	1
I	5	23	45	26	3
I	6	9	120	6	14
I	7	11	105	12	9
I	8	10	110	5	14
II	1	3	180	5	16
II	2	4	160	3	16
II	3	2	195	2	20
II	4	33	10	30	1
II	5	23	45	23	4
II	6	8	130	6	14
II	7	1	370	1	28
II	8	12	100	12	9
II	9	21	50	15	7
II	10	5	150	4	17
II	11	19	65	17	5
II	12	17	60	17	5
II	13	14	75	12	9
II	14	17	60	17	8
III	1	21	50	17	6
III	2	35	5	30	1
III	3	29	15	30	1
III	4	29	15	30	1
III	5	28	20	26	3
III	6	35	5	30	1
IV	1	29	15	28	2
V	1	15	70	15	7
VI	1	7	140	6	14
VI	2	25	40	23	4
VI	3	27	30	28	2
VI	4	29	15	30	1
VI	5	19	55	23	4
VI	6	16	65	17	6

B: 体重や体動が大きい場合

順位	第1回調査結果		第2回調査		
	得票数	順位	得票数	順位	
I	1	33	10	33	1
I	2	30	20	31	2
I	3	35	0		0
I	4	36	0		0
I	5	33	10	31	2
I	6	21	45	20	5
I	7	27	30	25	3
I	8	30	20	25	3
II	1	4	160	5	17
II	2	5	160	3	16
II	3	6	140	6	13
II	4	21	45	22	4
II	5	21	45	22	4
II	6	8	125	6	13
II	7	1	405	1	32
II	8	9	110	10	11
II	9	10	105	6	13
II	10	18	60	15	7
II	11	19	50	18	6
II	12	11	60	15	7
II	13	14	65	11	9
II	14	12	60	11	9
III	1	14	65	13	8
III	2	18	55	13	8
III	3	21	45	20	5
III	4	32	15	33	1
III	5	19	60	22	4
III	6	28	25	25	3
IV	1	28	25	25	3
V	1	7	130	9	12
VI	1	2	210	2	19
VI	2	3	205	3	18
VI	3	25	35	25	3
VI	4	25	35	25	3
VI	5	16	40	18	6
VI	6	13	75	15	7

<追加質問>

あなたの施設では、新生児の身体や体動の大きさによって、固定方法を変える方針ですか、該当する方に○を付けてください。

1. 基本的に変える
2. 基本的に変えない

栄養カテーターの固定法

第2回調査

新生児（低出生体重児を含む）に適した栄養カテーターの固定法について経口挿入・経鼻挿入別に答えてください。

第2回調査では、第1回調査結果と、方法決定に際しての評価項目を参考に、再検討してください。

1. 口挿入について、第2回調査で新しい選択肢0-1と0-2の2項目が増えています。適切だと思ふ方法を、図1で示した方法から3つ選び、適していると思われる順に、番号を回答用紙の第2回調査欄に書いてください。3つ選ぶのが難しい場合は1つないし2つでも結構です。ただし、必ず順位づけをしてください。

栄養カテーター（口挿入）の固定法の評価項目

- 1) 絆創膏を貼る位置が唾液で汚染されないか
- 2) 皮膚に付着する絆創膏の面積は必要最小限か
- 3) 顔の向きを変えやすいか

2. 鼻挿入について適切だと思ふ方法を、図2で示した方法から3つ選び、適していると思われる順に、番号を回答用紙の第2回調査欄に書いてください。3つ選ぶのが難しい場合は1つないし2つでも結構です。ただし、必ず順位づけをしてください。

栄養カテーター（鼻挿入）の固定法の評価項目

- 1) 絆創膏を貼る位置が唾液で汚染されないか
- 2) 皮膚に付着する絆創膏の面積は必要最小限か
- 3) 絆創膏による鼻部への圧迫はないか

栄養カテーターの固定法

回答用紙

1位から3位を選び、第2回調査の欄に記入してください。

調査法№	第1回調査結果			第2回調査			調査法№	第1回調査結果			第2回調査		
	順位	得票数	割合	順位	得票数	割合		順位	得票数	割合	順位	得票数	割合
1	13	100	12	11			21	4	205	5	18		
2	7	150	8	15			22	3	245	3	20		
3	6	185	6	17			23	6	130	9	13		
4	12	105	14	10			24	18	80	19	5		
5	15	90	16	9			25	16	75	13	9		
6	9	140	11	13			26	24	15	23	2		
7	18	25	16	3			27	18	75	16	6		
8	5	195	5	18			28	9	120	10	11		
9	1	400	1	40			29	2	320	2	30		
10	11	125	9	14			30	13	90	10	11		
11	3	300	3	25			31	1	380	1	37		
12	4	225	4	20			32	11	110	10	11		
13	17	45	17	6			33	8	155	6	17		
14	2	340	2	33			34	20	40	18	6		
15	16	85	14	10			35	14	80	13	8		
16	7	150	7	16			36	7	145	7	16		
17	19	20	20	2			37	21	25	20	4		
18	10	130	9	14			38	21	25	22	3		
19	19	20	18	3			39	21	25	23	2		
20	13	100	12	11			40	10	115	9	12		
0-1							41	5	190	3	20		
0-2							42	12	95	13	9		
							43	14	80	14	8		
							44	24	15	25	1		
							45	18	45	20	4		

図1 栄葉カテーテルの固定法 (紐口の場合)

番号	固定の仕方	図
0-1	口角から出たカテーテルを鼻の下で縦長に貼る	0-1
1	口角から出たカテーテルを頬部で縦長に貼る	1
2	口角から出たカテーテルを頬部で縦長に貼る	2
3	正中から出たカテーテルを下唇で縦長に貼る	3
4	正中から出たカテーテルを1回巻き、下唇で縦長に貼る	4
5	口角から出たカテーテルを頬部で貼る	5
6	正中から出たカテーテルを下唇で貼る	6
7	正中から出たカテーテルをZの上唇で1回巻きつけ、下唇は下唇に貼る	7
0-2	口角から出たカテーテルを1回巻き頬部に貼る。カテーテルを鼻下から反対側の頬部にまわし、もう1枚を1回巻き頬部に貼る	0-2
8	口角から出たカテーテルを1回巻き頬部に貼る。もう1枚も同じように間隔をあけて貼る	8
9	口角から出たカテーテルを1回巻き頬部に貼る。もう1枚は間隔をあけて縦長に貼る	9
10	口角から出たカテーテルを頬部で縦長に貼る。カテーテルを下唇から反対側の頬部にまわし、もう1枚を縦長に貼る	10
11	口角から出たカテーテルを1回巻き口角部分で貼る。カテーテルを口角から反対側の頬部にまわし、もう1枚をカテーテルに巻きつけて貼る	11
12	正中から出たカテーテルを1回巻き、下唇で縦長に貼る。もう1枚はその上を重ねて貼る	12
13	正中から出たカテーテルを頬部で、間隔をあけて縦長に貼る	13
14	正中から出たカテーテルを下唇で縦長に貼る。もう1枚は頬部で縦長に貼る	14
15	正中から出たカテーテルを下唇で縦長に貼る。もう1枚は頬部で貼る (両口部分でカテーテルを貼る)	15
16	口角から出たカテーテルを口角から入り斜め頬部で縦長に貼る。もう1枚は頬部で縦長に貼る	16
17	正中から出たカテーテルに巻いた糸の両端を斜め頬部で縦長に貼る	17
18	1枚は口角からカテーテルを1回巻き貼る。カテーテルを下唇から反対側にまわし、もう1枚もカテーテルを1回巻き貼る。3枚目で頬部に貼る	18
19	口角から出たカテーテルを、3枚目同じようにカテーテルに1回巻き、間隔をあけて口角から頬部に貼る	19
20	口角から出たカテーテルを1回巻き貼る。カテーテルを下唇にまわし2枚目で頬部に貼る。3枚目は頬部で縦長に貼る	20

図2 栄葉カテーテルの固定法 (経鼻の場合)

番号	固定の仕方	図
21	鼻下から頬部にかけてカテーテル上を縦長に貼る	21
22	同上	22
23	カテーテルに1回巻き鼻下に貼る	23
24	切込みのない部分を鼻尖部に貼り、切込みがある部分をカテーテルに巻きつける	24
25	同上	25
26	同上	26
27	Zの上唇を鼻尖部に貼り、下唇はカテーテルに巻き、もう1枚を貼る	27
28	1枚はカテーテルに1回巻き鼻下に縦長に貼り、その上にもう1枚を貼る	28
29	1枚はカテーテルに1回巻き鼻下から頬部にや頬部に貼る。もう1枚は頬部をあけて縦長に貼る	29
30	1枚はカテーテルに1回巻き鼻下から頬部に縦長に貼り、もう1枚も同じように間隔をあけて貼る	30
31	1枚はカテーテルに1回巻き鼻下の鼻尖部に貼り、もう1枚は頬部に縦長に貼る	31
32	1枚は鼻下に頬部に貼る。もう1枚はカテーテルに1回巻き頬部に縦長に貼る	32
33	頬部に縦長に1枚ずつ、間隔をあけて貼る	33
34	頬部に縦長に1枚ずつ、間隔をあけて貼る	34
35	1枚は鼻下に頬部に貼り、ハート型は頬部に貼る	35
36	切込みのない部分を鼻尖部に貼り、切込みがある部分をカテーテルに巻きつける。もう1枚は頬部に縦長に貼る	36
37	切込みのない部分を鼻尖部に貼り、切込みがある部分をカテーテルに巻きつける。もう1枚は頬部に縦長に貼る	37
38	カテーテルの鼻穴部分に巻いた糸の端を斜め頬部で鼻尖部に貼る。もう1枚は頬部に縦長に貼る	38
39	カテーテルの鼻穴部分に巻いた糸の端を、1枚は鼻下、もう1枚は頬部に縦長に貼る	39
40	1枚は鼻下に頬部に貼り、残り2枚は間隔をあけて頬部に縦長に貼る	40
41	カテーテルに1回巻き鼻下から頬部にかけて縦長に貼り、その上に2枚目を重ねて貼る。3枚目は頬部に縦長に貼る	41
42	カテーテルに1回巻き鼻尖には、残り2枚は間隔をあけて、カテーテルに1回巻き頬部に縦長に貼る	42
43	切込みのない部分を鼻尖部に貼り、切込みがある部分をカテーテルに巻きつける。2枚目は鼻尖部分の斜め頬部にて頬部に貼る。3枚目は頬部に縦長に貼る	43
44	切込みのない部分を鼻尖部に貼り、切込みがある部分をカテーテルに巻きつける。残り2枚は間隔をあけて、カテーテルに1回巻き頬部に縦長に貼る	44
45	カテーテルの鼻穴部分に巻いた糸の端を、1枚は鼻下、もう1枚は頬部に縦長に貼る。3枚目の斜め頬部でカテーテルを頬部で縦長に貼る	45

末梢静脈留置カテーテル刺入部の固定法

第2回調査

新生児（低出生体重児を含む）に適した末梢静脈留置カテーテル刺入部の固定法について、適していると思われる方法を別紙の図で示した方法から3つ選び、適していると思われる順に、番号を回答紙の第2調査題に書いてください。3つ選ぶのが難しい場合は1つないし2つでも結構です。ただし、必ず順位づけをしてください。

- * 今回の調査では、延長チューブやシーネの固定、絆創膏の種類については検体内容から除外しています。
- * 絆創膏の幅は1インチ（2.54cm）を基本とし、細めの絆創膏は1/2インチ（1.25cm）と考え、およその目安としてください。
- * 手順1、手順2とあるのは、絆創膏を次々と重ねて貼っていく状況です。
- * 「切り込み」とは、絆創膏に切り込みを入れたものを示します。
- * 手順2のところでは1枚、2枚とあるのは、手順2で使用する絆創膏の枚数を示します。
- * 図の点線部分は、下側の絆創膏を示します。

第2回調査では、第1回調査結果と、方法決定に際しての評価項目を参考に、再検討してください。

末梢静脈留置カテーテル刺入部の固定法の評価項目

- 1) 刺入部の観察ができるか
- 2) 刺入部の固定が十分できるか
- 3) 接続部分の固定ができるか
- 4) 皮膚に付着する絆創膏の面積は必要最小限か
- 5) 絆創膏や使用物品による圧迫がないか
- 6) コストはどうか

末梢静脈留置カテーテル刺入部の固定法

回答用紙

1位から3位を選び、第2回調査の欄に記入してください。

順位	第1回調査結果			第2回調査		
	順位	票数	割合	順位	票数	割合
1	1	630	1	55		
2	3	285	3	31		
3	0	0	0	0		
4	9	125	9	13		
5	17	40	15	4		
6	18	20	19	2		
7	6	176	5	19		
8	5	185	8	15		
9	18	20	16	3		
10	2	360	2	35		
11	11	90	11	8		
12	0	0	0	0		
13	0	0	0	0		
14	20	5	20	1		
15	10	95	11	8		
16	4	235	4	27		
17	15	50	15	6		
18	13	80	14	7		
19	11	90	10	10		
20	7	170	7	16		
21	14	65	11	8		
22	8	145	6	16		
23	0	0	0	0		
24	19	45	15	4		
25	0	0	0	0		

経末梢中心静脈カテーテルの固定法

(PIカテーテルの固定法)

第2回調査

新生児（低出生体重児を含む）に適した経末梢中心静脈カテーテル（PIカテーテル）刺入部の固定法について、適していると思われる方法を別紙の図で示した方法から3つ選び、適していると思われる順に、番号を回答用紙の第2調査欄に書いてください。3つ選ぶのが難しい場合は1つないし2つでも結構です。ただし、必ず順位づけをしてください。

* 今回の調査では、延長チューブやシーネの固定、絆創膏の種類については検料内容から除外しています。

* 絆創膏は、清潔が維持されたもので、滅菌処理を加えたものではないものとしています。

* 手順1、手順2とあるのは、絆創膏や透明フィルム、圧迫止血用の材料を次々に重ねながら貼っていく状況です。

第2回調査では、第1回調査結果と、方法決定に際しての評価項目を参考に、再検討してください。

経末梢中心静脈カテーテルの固定法の評価項目

- 1) 絆創膏を貼る位置が唾液で汚染されないか
- 2) チューブを左右・上下に引き合う力は均等か
- 3) 皮膚に付着する絆創膏の面積は必要最小限か

経末梢中心静脈ライン(PIカテーテル)の固定法

回答用紙

1位から3位を選び、第2回調査の欄に記入してください。

調査項目	第1回調査結果			第2回調査		
	順位	回答人数	順位	回答人数	順位	回答人数
1	1	540	1	43		
2	2	305	2	29		
3	3	13	75	10	0	
4	5	195	5	23		
5	3	270	3	27		
6	4	225	4	24		
7	31	5	27	1		
8	17	40	18	5		
9	9	110	9	11		
10	13	75	10	9		
11	11	90	10	9		
12	8	130	7	16		
13	19	30	19	3		
14	23	15	22	2		
15	15	65	15	7		
16	23	15	22	2		
17	29	10	27	1		
18	23	15	19	3		
19	17	40	18	4		
20	6	190	6	17		
21	11	90	10	9		
22	7	145	8	12		
23	10	90	10	9		
24	16	50	16	5		
25	0	0	0	0		
26	31	5	17	1		
27	21	25	22	2		
28	21	25	22	2		
29	29	10	27	1		
30	23	15	22	2		
31	0	0	0	0		
32	23	15	27	1		
33	0	0	0	0		
34	23	15	27	1		
35	0	0	0	0		
36	19	30	19	3		

身体抑制・固定法

第2回調査

チューブやカテーテルが挿入されている次の4つの状況にある新生児（低出生体重児を含む）の身体抑制・固定法について、体位別（仰臥位・側臥位・腹臥位）に答えてください。適切と思われる方法を、各々3つ選び、適切と思われる順に、番号を回答用紙の第2調査欄に書いてください。3つ選ぶのが難しい場合は1つないし2つでも結構です。ただし、必ず順位づけをしてください。

- A：新生児の状況は、気管内挿管・血管確保・栄養カテーテル挿入中です。
- B：新生児の状況は、血管確保と栄養カテーテル挿入中です。
- C：新生児の状況は、栄養カテーテル挿入中です。
- D：新生児の状況は、血管確保中です。

第2回調査では、第1回調査結果を参考に、再検討してください。また、最後の追加質問にもお答えください。身体抑制・固定法に関する回答用紙は全部で5枚です。

身体抑制・固定法
回答用紙(A)

1位から3位を選び、第2回調査の欄に記入してください。

新生児の状況

気管内挿管中・栄養カテーテル挿入中・血管確保中

調査No.	第1回調査結果			第2回調査
	順位	得票数	第1回調査の 有効回答の 占める割合	
1	1	535	1	42
2	16	55	19	5
3	2	335	2	35
4	8	190	7	14
5	15	80	15	4
6	19	40	17	4
7	12	80	11	8
8	19	40	19	5
9	17	50	16	7
10	4	180	6	17
11	0	0	0	0
12	9	115	11	8
13	24	5	23	1
14	19	40	19	5
15	3	280	3	27
16	11	105	10	12
17	17	50	17	4
18	23	10	23	1
19	22	25	22	3
20	5	170	4	18
21	6	165	4	18
22	9	115	9	13
23	7	150	7	14
24	13	85	11	8
25	13	85	11	8

側臥位

調査No.	第1回調査結果			第2回調査
	順位	得票数	第1回調査の 有効回答の 占める割合	
26	1	600	2	600
27	13	35	13	35
28	6	180	6	185
29	12	45	10	45
30	11	55	12	55
31	4	335	3	335
32	9	75	9	75
33	7	120	7	120
34	2	555	1	570
35	10	65	10	65
36	8	85	8	85
37	5	280	5	280
38	3	385	4	385

仰臥位

調査No.	第1回調査結果			第2回調査
	順位	得票数	第1回調査の 有効回答の 占める割合	
39	1	870	1	51
40	8	105	6	12
41	15	50	15	5
42	7	95	7	9
43	4	170	4	20
44	21	35	19	4
45	12	60	11	6
46	34	15	32	2
47	3	210	3	21
48	37	10	32	2
49	30	25	19	4
50	13	55	15	5
51	23	30	29	3
52	15	50	11	6
53	11	70	11	6
54	0	0	0	0
55	23	30	19	4
56	18	40	19	4
57	18	40	19	4
58	5	150	5	14
59	2	240	2	24
60	0	0	0	0
61	32	20	32	2
62	37	10	36	1
63	21	35	19	4
64	30	25	19	4
65	0	0	0	0
66	0	0	0	0
67	0	0	0	0
68	0	0	0	0
69	5	36	1	1
70	40	5	36	1
71	40	5	36	1
72	23	30	29	3
73	17	45	11	6
74	0	0	0	0
75	0	0	0	0
76	0	0	0	0
77	0	0	0	0
78	0	0	0	0
79	40	5	36	1
80	34	15	36	1
81	40	5	36	1
82	23	30	29	3
83	17	45	11	6
84	0	0	0	0
85	0	0	0	0
86	37	10	36	1
87	32	20	32	2
88	23	30	19	4
89	13	55	15	5
90	18	40	15	6
91	8	85	8	8
92	23	30	29	3
93	34	15	36	1
94	23	30	19	4
95	23	30	19	4
96	10	76	8	8
97	8	85	10	7

身体抑制・固定法
回答用紙(B)

1位から3位を選び、第2回調査の欄に記入してください。

調査№	第1回調査結果			第2回調査		
	順位	得票数	順位	得票数	順位	得票数
38	1	1090	1	80		
40	3	340	3	39		
41		0	0	0		
42		0	0	0		
43	10	40	10	4		
44	4	200	4	23		
45	5	95	5	14		
46	8	75	8	10		
47	2	500	2	53		
48	0	0	0	0		
49	0	0	0	0		
50	23	5	19	1		
51		0	0	0		
52	14	15	13	2		
53	14	15	19	1		
54		0	0	0		
55		0	0	0		
56	17	10	13	2		
57		0	0	0		
58		0	0	0		
59	11	30	10	4		
60	17	10	13	2		
61	12	20	12	3		
62	7	80	7	8		
63	5	90	8	8		
64	9	45	9	8		
65		0	0	0		
66		0	0	0		
67		0	0	0		
68		0	0	0		
69	9	60	9	7		
70	15	5	14	1		
71	15	5	14	1		
72	6	130	6	16		
73	10	20	11	2		
74	14	10	14	1		
75		0	0	0		
76		0	0	0		
77		0	0	0		
78		0	0	0		
79		0	0	0		
80		0	0	0		
81		0	0	0		
82		0	0	0		
83	17	10	13	2		
84	12	20	13	2		
85	17	10	19	1		
86		0	0	0		
87		0	0	0		
88		0	0	0		
89		0	0	0		
90	17	10	13	2		
91		0	0	0		
92		0	0	0		
93		0	0	0		
94	4	215	3	28		
95	17	10	19	1		
96	23	5	19	1		
97		0	0	0		

新生児の状況: 栄養カテリル挿入中・血管確保中

調査№	第1回調査結果			第2回調査		
	順位	得票数	順位	得票数	順位	得票数
1	1	1195	1	84		
2	3	380	2	45		
3	8	90	7	11		
4	11	15	11	2		
5		0	0	0		
6	4	225	4	30		
7	5	215	5	25		
8	2	405	2	45		
9	11	15	11	2		
10	11	15	10	3		
11		0	0	0		
12		0	0	0		
13		0	0	0		
14		0	0	0		
15	9	60	9	7		
16	15	5	14	1		
17	15	5	14	1		
18	6	130	6	16		
19	7	110	7	11		
20	10	20	11	2		
21	14	10	14	1		
22		0	0	0		
23		0	0	0		
24		0	0	0		
25		0	0	0		

調査№	第1回調査結果			第2回調査		
	順位	得票数	順位	得票数	順位	得票数
26	1	1065	1	82		
27	3	240	4	24		
28	9	75	9	10		
29	8	135	5	16		
30	8	110	7	15		
31	2	575	2	83		
32	12	30	12	4		
33	13	5	13	1		
34	4	215	3	28		
35	5	145	5	16		
36	7	130	8	11		
37	10	45	10	5		
38	10	45	10	5		

身体抑制・固定法
回答用紙(C)

1位から3位を選び、第2回調査の欄に記入してください。

調査№	第1回調査結果			第2回調査		
	順位	得票数	順位	得票数	順位	得票数
39	1	1185	1	82		
40	3	400	3	44		
41		0	0	0		
42		0	0	0		
43	6	70	6	9		
44	7	50	8	5		
45	4	85	4	14		
46	5	75	5	11		
47	2	510	2	59		
48	0	0	0	0		
49	0	0	0	0		
50	0	0	0	0		
51	16	5	15	1		
52		0	0	0		
53	12	25	13	2		
54		0	0	0		
55	15	10	15	1		
56	14	16	12	3		
57		0	0	0		
58		0	0	0		
59	8	45	7	7		
60	8	45	7	7		
61		0	0	0		
62		0	0	0		
63	12	25	13	2		
64		0	0	0		
65	15	10	15	1		
66	14	16	12	3		
67		0	0	0		
68		0	0	0		
69	8	45	7	7		
70		0	0	0		
71	18	5	15	1		
72	11	30	11	4		
73	9	40	8	5		
74	10	35	8	5		
75		0	0	0		
76		0	0	0		
77		0	0	0		
78		0	0	0		
79		0	0	0		
80		0	0	0		
81		0	0	0		
82		0	0	0		
83	13	20	13	2		
84		0	0	0		
85		0	0	0		
86		0	0	0		
87		0	0	0		
88		0	0	0		
89		0	0	0		
90		0	0	0		
91		0	0	0		
92	16	5	15	1		
93		0	0	0		
94		0	0	0		
95		0	0	0		
96		0	0	0		
97		0	0	0		

新生児の状況: 栄養カテリル挿入中

調査№	第1回調査結果			第2回調査		
	順位	得票数	順位	得票数	順位	得票数
1	1	1270	1	88		
2	2	480	2	54		
3	5	135	5	18		
4		0	0	0		
5	12	5	11	1		
6	6	80	6	10		
7	4	155	4	21		
8	3	425	3	53		
9		0	0	0		
10	10	10	10	2		
11		0	0	0		
12		0	0	0		
13		0	0	0		
14		0	0	0		
15	7	70	7	9		
16	12	5	11	1		
17	10	10	11	1		
18	9	25	9	3		
19	7	70	7	9		
20	12	5	11	1		
21		0	0	0		
22		0	0	0		
23		0	0	0		
24		0	0	0		
25		0	0	0		

調査№	第1回調査結果			第2回調査		
	順位	得票数	順位	得票数	順位	得票数
26	1	1170	1	83		
27	3	300	3	33		
28	7	60	8	8		
29	7	60	8	8		
30	5	90	5	13		
31	2	560	2	87		
32		0	0	0		
33	11	15	11	2		
34	4	230	4	32		
35	9	40	9	5		
36	6	65	7	7		
37	12	10	12	1		
38	10	20	10	3		

身体抑制, 固定法
回答用紙(D)

1位から3位を選び, 第2回調査の欄に記入してください。

新生児の状況: 血管確保中

調査番号	第1回調査結果			第2回調査		
	順位	得票数	順位	順位	得票数	順位
1	1	1200	1	87		
2	2	395	3	45		
3	8	70	7	8		
4	0	0	0	0		
5	0	0	0	0		
6	4	365	4	32		
7	5	160	5	20		
8	3	330	2	48		
9	12	5	12	1		
10	10	20	10	3		
11	0	0	0	0		
12	0	0	0	0		
13	0	0	0	0		
14	0	0	0	0		
15	9	45	9	6		
16	12	5	12	1		
17	0	0	0	0		
18	6	110	6	12		
19	7	85	7	8		
20	10	20	10	3		
21	0	0	0	0		
22	0	0	0	0		
23	0	0	0	0		
24	0	0	0	0		
25	0	0	0	0		

調査番号	第1回調査結果			第2回調査		
	順位	得票数	順位	順位	得票数	順位
26	1	1070	1	79		
27	3	280	3	29		
28	9	40	9	6		
29	5	160	5	19		
30	8	95	7	12		
31	2	445	2	57		
32	12	10	11	2		
33	12	10	13	1		
34	4	190	4	25		
35	6	140	6	16		
36	7	110	8	8		
37	9	40	10	4		
38	11	15	11	2		

追加質問

あなたの施設では新生児をどのような体位で寝かせていますか? 行っている体位すべてに○をつけてください。

- 1. 仰臥位
- 2. 側臥位
- 3. 腹臥位

注: 原則として行っていない体位については○をつけなくても構いません。

調査番号	第1回調査結果			第2回調査		
	順位	得票数	順位	順位	得票数	順位
39	1	1070	1	80		
40	3	395	3	40		
41	0	0	0	0		
42	0	0	0	0		
43	9	90	11	3		
44	4	180	4	22		
45	5	100	5	15		
46	8	60	6	8		
47	2	470	2	53		
48	0	0	0	0		
49	0	0	0	0		
50	19	5	17	1		
51	0	0	0	0		
52	13	15	12	2		
53	0	0	0	0		
54	15	10	17	1		
55	15	10	12	2		
56	0	0	0	0		
57	9	30	9	4		
58	0	0	0	0		
59	0	0	0	0		
60	13	15	12	2		
61	7	80	6	9		
62	6	85	8	7		
63	9	30	9	4		
64	0	0	0	0		
65	0	0	0	0		
66	0	0	0	0		
67	0	0	0	0		
68	0	0	0	0		
69	0	0	0	0		
70	0	0	0	0		
71	13	15	12	2		
72	7	80	6	9		
73	6	85	8	7		
74	9	30	9	4		
75	0	0	0	0		
76	0	0	0	0		
77	0	0	0	0		
78	0	0	0	0		
79	0	0	0	0		
80	0	0	0	0		
81	0	0	0	0		
82	0	0	0	0		
83	15	10	12	2		
84	19	5	17	1		
85	15	10	17	1		
86	0	0	0	0		
87	0	0	0	0		
88	0	0	0	0		
89	0	0	0	0		
90	19	5	17	1		
91	0	0	0	0		
92	0	0	0	0		
93	0	0	0	0		
94	0	0	0	0		
95	0	0	0	0		
96	12	20	12	2		
97	0	0	0	0		

資料3

平成16年12月1日

NICU看護師長 様

「NICU看護技術標準化によるエビデンスに基づいた安全対策に関する研究」
第3回調査のお願い

前略
皆様には「NICU看護技術標準化によるエビデンスに基づいた安全対策に関する研究」調査にご協力いただいておりますこと、感謝申し上げます。
第1回および第2回調査によって、各固定法について適切と考えられる方法を順位づけることができました。
今回(第3回)の目的は、今後予定されている実証研究において検証する固定法(1位、2位に選出された方法)についての合意を確立することです。

調査によって選出された方法を別紙に記しましたので、それをご参照のうえ、合意するか否かを回答用紙に記入し、Faxで返信してください。
なお、このたびの第3回調査は、当初から承諾して下さっております120の全施設にご協力をお願いいたします。
返送は12月9日(木)までをお願いいたします。返送までの期日が短いことをご負担をおかけいたしますが、どうぞご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

本調査に関する連絡先：
〒734-8551 広島市南区霞1-2-3
広島大学大学院保健学研究科 横尾京子
TEL/FAX: 082-257-5360
E-mail yokoo@hiroshima-u.ac.jp

研究代表者 横尾京子

今後の予定
第3回調査での合意確認の後、推奨された固定法の適切性について、新生児の安全と安楽、固定の効果、実施の簡便さ等の観点から総合的に検証を行う予定です。
実証研究は、本研究の研究協力者が所属する5施設に協力いただき実施いたします。デルファイ調査で1位と2位に選ばれた固定法を実験群とし、協力施設で従来より行われていた方法を対照群とします。

第3回調査 回答用紙

FAX 082-257-5361

施設名 _____

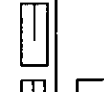

- 各固定法について、2つの質問に対して該当する回答にチェック(レ)をしてください。
- 「合意しない」または「いいえ」を選択した場合には、その理由もお書きください。また、「その他」の場合には具体的なにお書きください。

質問	1. 検証する看護方法として、この2方法に合意しますか?	2. 第2回調査の際、基準について少しでも再検討しましたか?
技術	<input type="checkbox"/> 合意する <input type="checkbox"/> 合意しない	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
気管内チューブ	「合意しない」理由は <input type="checkbox"/> 基準が日常実証的でなかった <input type="checkbox"/> 自施設の方法が含まれていなかった <input type="checkbox"/> その他(具体的に書いてください)	「いいえ」の理由は <input type="checkbox"/> 時間がなかったから <input type="checkbox"/> 基準が妥当ではない <input type="checkbox"/> その他(具体的に書いてください)
新生児の体重が小さい体動が少ない場合	<input type="checkbox"/> 合意する <input type="checkbox"/> 合意しない	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
気管内チューブ	「合意しない」理由は <input type="checkbox"/> 基準が日常実証的でなかった <input type="checkbox"/> 自施設の方法が含まれていなかった <input type="checkbox"/> その他(具体的に書いてください)	「いいえ」の理由は <input type="checkbox"/> 時間がなかったから <input type="checkbox"/> 基準が妥当ではない <input type="checkbox"/> その他(具体的に書いてください)
新生児の体重が大きい体動が多い場合	<input type="checkbox"/> 合意する <input type="checkbox"/> 合意しない	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
末梢静脈置留置カテーテル	「合意しない」理由は <input type="checkbox"/> 基準が日常実証的でなかった <input type="checkbox"/> 自施設の方法が含まれていなかった <input type="checkbox"/> その他(具体的に書いてください)	「いいえ」の理由は <input type="checkbox"/> 時間がなかったから <input type="checkbox"/> 基準が妥当ではない <input type="checkbox"/> その他(具体的に書いてください)
末梢静脈置留置カテーテル	<input type="checkbox"/> 合意する <input type="checkbox"/> 合意しない	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
栄養カテーテル(経口挿入)	「合意しない」理由は <input type="checkbox"/> 基準が日常実証的でなかった <input type="checkbox"/> 自施設の方法が含まれていなかった <input type="checkbox"/> その他(具体的に書いてください)	「いいえ」の理由は <input type="checkbox"/> 時間がなかったから <input type="checkbox"/> 基準が妥当ではない <input type="checkbox"/> その他(具体的に書いてください)
栄養カテーテル(経口挿入)	<input type="checkbox"/> 合意する <input type="checkbox"/> 合意しない	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
栄養カテーテル(経鼻挿入)	「合意しない」理由は <input type="checkbox"/> 基準が日常実証的でなかった <input type="checkbox"/> 自施設の方法が含まれていなかった <input type="checkbox"/> その他(具体的に書いてください)	「いいえ」の理由は <input type="checkbox"/> 時間がなかったから <input type="checkbox"/> 基準が妥当ではない <input type="checkbox"/> その他(具体的に書いてください)
栄養カテーテル(経鼻挿入)	<input type="checkbox"/> 合意する <input type="checkbox"/> 合意しない	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
経末梢中心静脈置留置カテーテル	「合意しない」理由は <input type="checkbox"/> 基準が日常実証的でなかった <input type="checkbox"/> 自施設の方法が含まれていなかった <input type="checkbox"/> その他(具体的に書いてください)	「いいえ」の理由は <input type="checkbox"/> 時間がなかったから <input type="checkbox"/> 基準が妥当ではない <input type="checkbox"/> その他(具体的に書いてください)
経末梢中心静脈置留置カテーテル	<input type="checkbox"/> 合意する <input type="checkbox"/> 合意しない	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

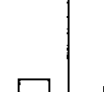
調査によって選出された方法

気管内チューブ

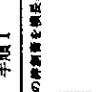

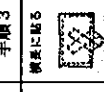
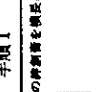

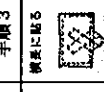
A: 新生児の状況が、体重が小さい、体動が少ない場合

1位	II-7		①鼻の下→頬とT ②Tと顎→頬	口角
2位	II-2		①左上頬→T→左下頬 ②右上頬→T→顎→右下頬	口角

B: 新生児の状況は、体動が大きい、体動が多い状態

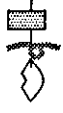

1位	II-2		①左上頬→T→左下頬 ②右上頬→T→顎→右下頬	口角
2位	VI-1	ネオパー	パーの中央にETを挿入して固定し、パーの両端を挿入して固定する。	正中

末梢静脈留置カテーテル



固定法	手順1	手順2	手順3
1位	No.1 	2.5cm以上の静脈管を確保に貼る 	静脈に貼る 
2位	No.10 	静脈の静脈管を確保に貼る 	静脈の静脈管を確保に貼る 

栄養カテーテル




経口挿入

1位	No.9 	口角から出たカテーテルを1回巻き頬部に貼る、もう1枚は両側をあげて縦長に貼る
2位	No.14 	正中から出たカテーテルを下顎で横長に貼り、もう1枚は頬部で横長に貼る

経鼻挿入

1位	No.31 	1枚はカテーテルに1回巻きその両端の鼻先に貼り、もう1枚は頬部に縦長に貼る
2位	No.29 	1枚はカテーテルに1回巻き鼻下から頬部にやや縦長に貼り、もう1枚は両側をあげて縦長に貼る

経末梢中心静脈カテーテル (PIカテーテルの固定法)

方法	手順1	手順2
1位	No.1 	透明フィルムを貼る 
2位	No.2 	透明フィルムを貼る 